

令和2年12月28日

京都市会議長
山本 恵一

医療従事者等皆様への感謝と

年末年始の医療提供体制確保への協力を求める 議長メッセージ

医療機関をはじめ、新型コロナウイルス感染症の対応に最前線で携わっておられる方々におかれましては、強い使命感、責任感を持って従事いただいておりますことに、心から感謝申し上げますとともに、深く敬意を表します。

現在、新型コロナウイルス感染症については、全国的に新規感染者数が急増し、京都市においても1日当たりの新規感染者数が過去最多を更新するなど、最大限の警戒が必要な状況です。

とりわけ、年末年始においては多くの診療所が休診となる一方、新型コロナウイルス感染者数のこの間の状況や、例年の季節性インフルエンザの流行を想定すると、診療・検査体制や感染者の受入体制の維持・確保が大変難しい現状であり、京都市としても、議会の働き掛けにより、年末年始に診療される市内の医療機関に対する支援を決めたところがあります。

年末年始の医療提供体制の危機を乗り切るためには、市民の皆様にも強い危機感を持って更なる感染症対策に取り組んでいただくことと、医療従事者の皆様のより一層の御協力が不可欠であります。

医療従事者の皆様には、増え続ける新型コロナウイルス感染症患者の対応に追われ、長期間にわたり大変厳しい状況が続いていると存じますが、市民のため、何とぞ引き続きの御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

京都市会といたしましても、医療崩壊を防ぎ、市民の皆様の命と健康を守り抜くため、できる限りの支援を行い、努力を重ねてまいる所存であります。

今後とも、市民の皆様、医療従事者の皆様の御理解、御協力を切にお願い申し上げます、メッセージといたします。